

相談実績

1 年度別相談実績

(単位:件)

H19年度 (9月～)	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	累計
572 (81)	1,410 (117)	2,007 (167)	2,107 (175)	2,111 (175)	2,116 (176)	2,491 (207)	3,061 (255)	4,186 (348)	5,569 (464)	5,746 (479)	31,376

(注) 下段 () は1月あたりの件数

(平成29年度月別相談実績)

(単位:件)

H29年度												(4月～3月)
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
454	499	380	502	554	536	474	365	521	540	451	470	5,746

○平成29年度の相談件数は、前年度と比べて約3%増であった。

2 1日当たりの相談件数

(単位:件)

年度	平日			休日等		
	相談件数	日数	1日あたり	相談件数	日数	1日あたり
H19年度 (9月～)	205	138	1.49	367	75	4.89
H20年度	577	243	2.37	833	122	6.83
H21年度	740	242	3.06	1,267	123	10.30
H22年度	773	243	3.18	1,334	122	10.93
H23年度	823	244	3.37	1,288	122	10.56
H24年度	832	245	3.40	1,284	120	10.70
H25年度	923	244	3.78	1,568	121	12.96
H26年度	1,105	244	4.53	1,956	121	16.17
H27年度	1,610	243	6.63	2,576	123	20.94
H28年度	2,379	243	9.79	3,190	122	26.15
H29年度	2,524	244	10.34	3,222	121	26.63

○相談件数は、平日・休日等ともに伸びている。

3 圏域別相談件数(平成27年度以降)

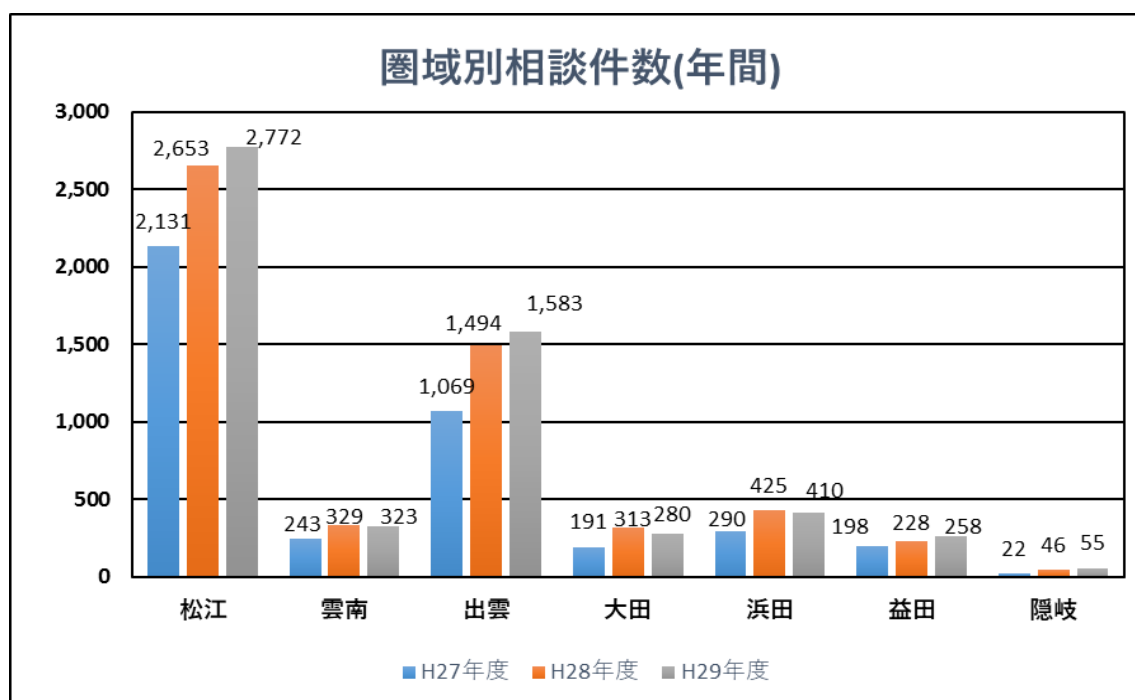
(単位:件)

圏域名	H27年度	H28年度	H29年度												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
松江圏	2,131	2,653	235	258	211	238	279	238	237	163	211	265	201	236	2,772
雲南圏	243	329	20	27	11	30	32	32	21	16	28	42	30	34	323
出雲圏	1,069	1,494	120	113	87	144	133	176	116	125	168	136	134	131	1,583
大田圏	191	313	16	25	13	21	31	29	35	19	32	25	14	20	280
浜田圏	290	425	39	46	30	29	38	22	43	26	39	33	39	26	410
益田圏	198	228	16	22	12	24	30	29	12	11	31	35	23	13	258
隠岐圏	22	46	3	3	12	6	3	5	5	2	6	1	6	3	55
その他、不明	42	81	5	5	4	10	8	5	5	3	6	3	4	7	65
計	4,186	5,569	454	499	380	502	554	536	474	365	521	540	451	470	5,746

年間比較

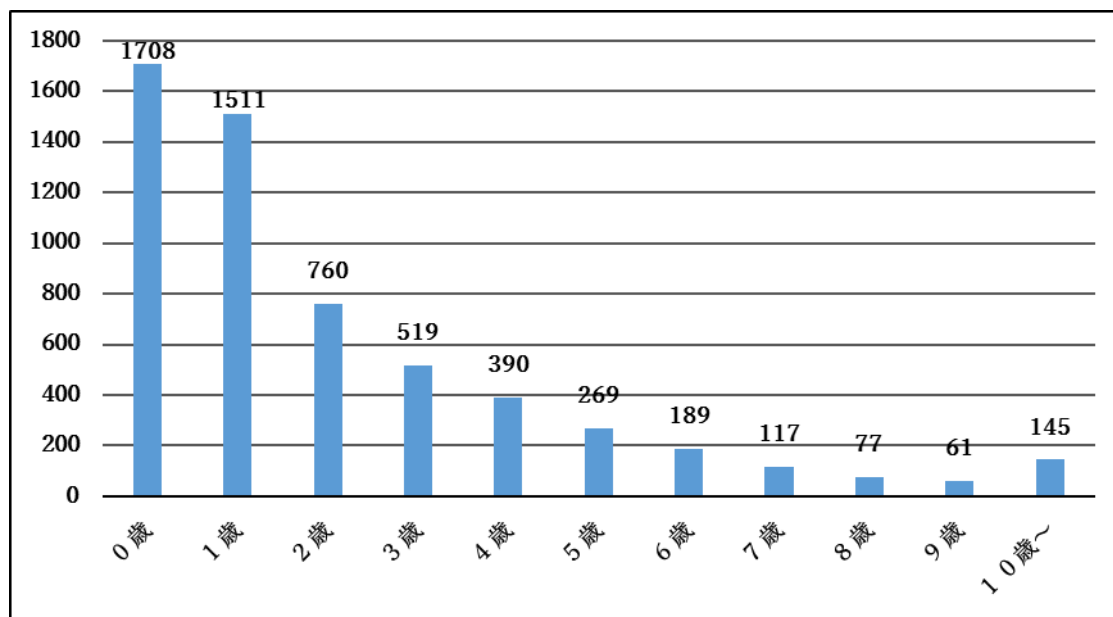
	H27年度	H28年度	H29年度	H28→H29 伸び率
松江	2,131	2,653	2,772	1.04
雲南	243	329	323	0.98
出雲	1,069	1,494	1,583	1.06
大田	191	313	280	0.89
浜田	290	425	410	0.96
益田	198	228	258	1.13
隠岐	22	46	55	1.20
合計	4,144	5,488	5,681	1.04

(注)その他、不明は除く



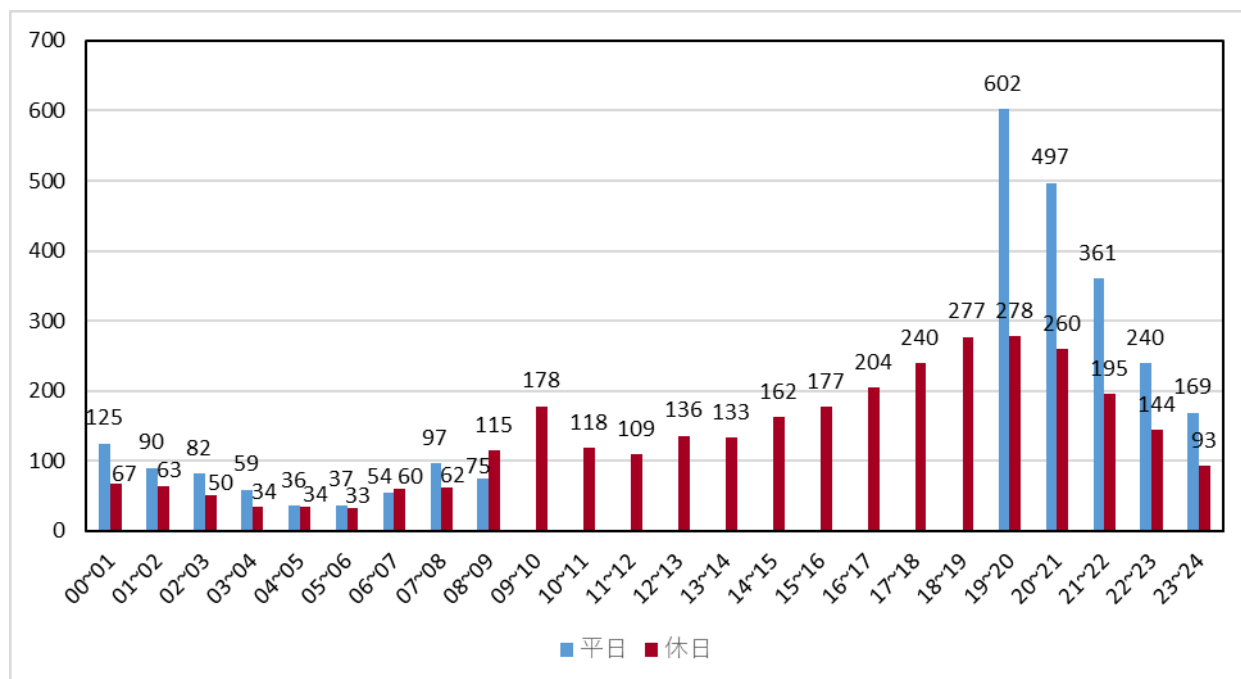
(注)その他、不明は除く

4 年齢別相談件数（平成29年4月～平成30年3月）



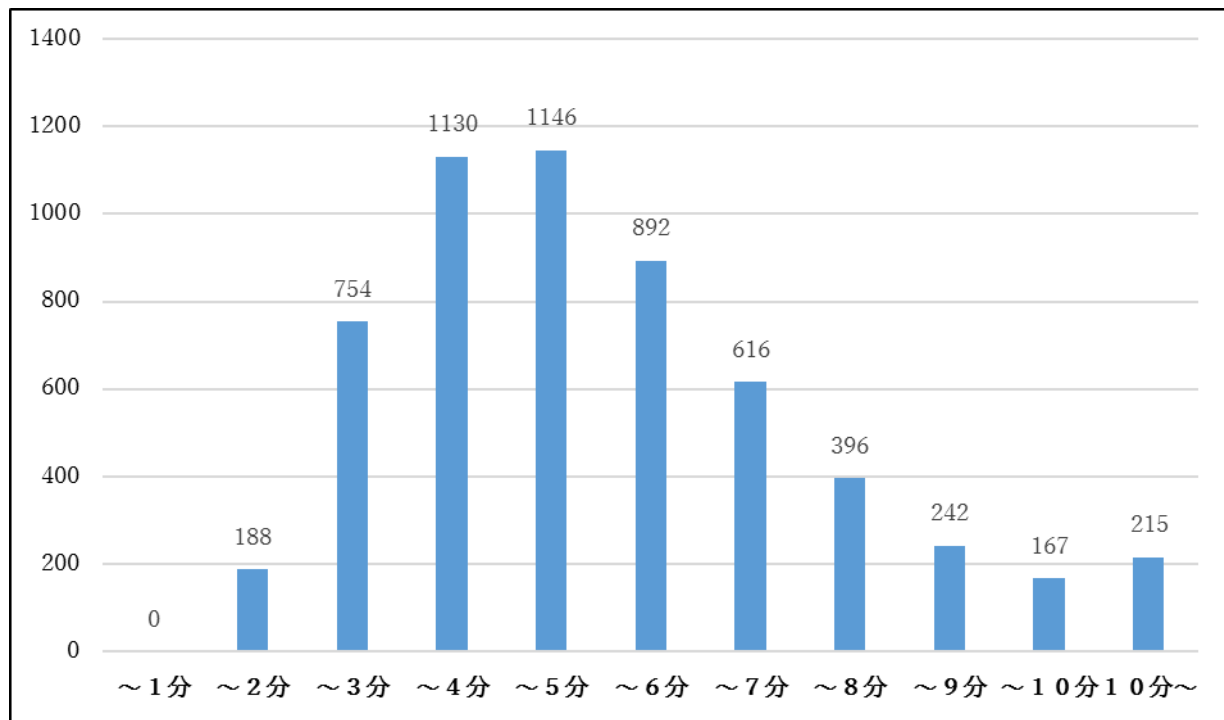
○0～1歳児の相談が約6割を占めている。（5,746件中3,219件）

5 時間帯別相談件数（平成29年4月～平成30年3月）



○平日・休日ともに19時から20時の相談が多い。

6 相談時間（平成29年4月～平成30年3月）



○2分から6分での相談が多い。（平均相談時間5分07秒）

7 相談者（平成29年4月～平成30年3月）

相談者	件数	割合
父	656	11.40%
母	5,060	88.10%
祖父母	23	0.40%
親戚	2	0.00%
その他	5	0.10%
合計	5,746	100.00%

年代	件数	割合
10代	2	0.00%
20代	968	16.80%
30代	4,418	76.90%
40代	331	5.80%
50代	17	0.30%
60代	9	0.20%
不明	1	0.00%
合計	5,746	100.00%

相談内容

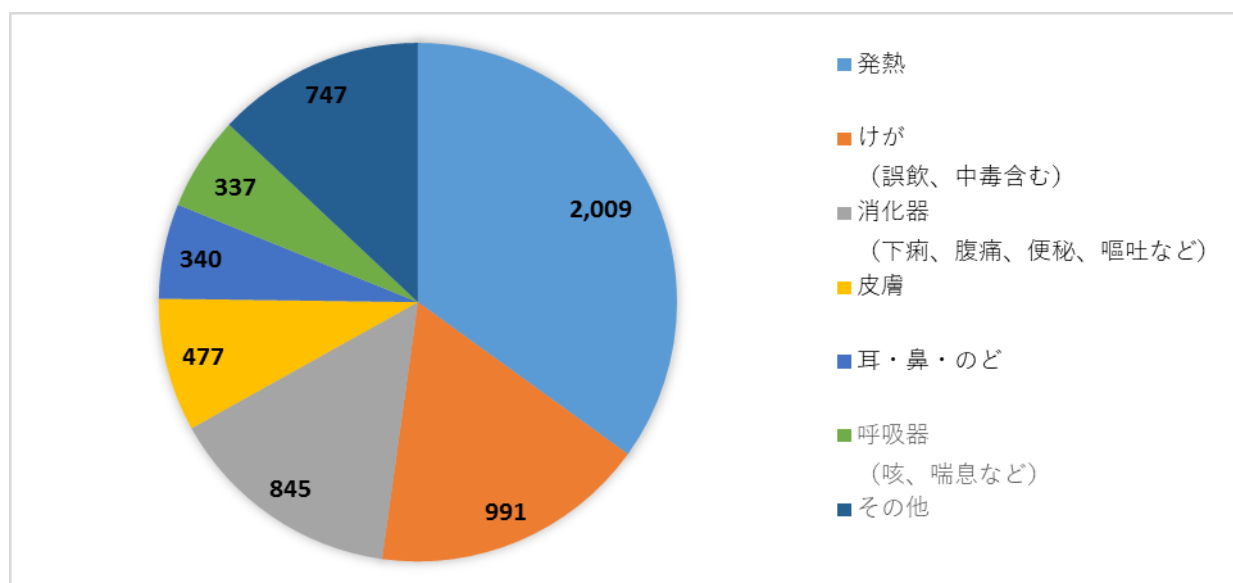
1 相談内容別（平成29年4月～平成30年3月）

（単位：件）

	発熱	けが (誤飲、中毒 含む)	消化器 (下痢、腹 痛、便秘、嘔 吐など)	皮膚	耳・鼻・のど	呼吸器 (咳、喘息な ど)	その他	計
相談件数	2,009	991	845	477	340	337	747	5,746

（注）その他には育児、健診等を含む。

○発熱に関する相談が多く、続いてけが、消化器に関する相談が多い。



2 医療機関案内（平成29年4月～平成30年3月）

（単位：件）

	H29年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
相談件数	454	499	380	502	554	536	474	365	521	540	451	470	5,746
医療機関案内	116	150	109	140	145	153	153	79	133	138	88	103	1,507
割合	25.6%	30.0%	28.7%	27.9%	26.2%	28.5%	32.2%	21.6%	25.5%	25.6%	19.5%	21.9%	26.1%

対応事例（平成28年4月～平成29年3月）

<耳・鼻・のど>

Q：2時間ほど前から、耳の下に痛みと腫れがある。熱も39.2℃。以前耳鼻科で処方されたポンタールと、弟に処方されているコカール40%細粒がある。使用してよいか。（7歳 男児）

A：コカールがやや量的に少ないが、両方とも使用は差し支えないと思われる。原則としては本人に処方されている薬がよいため、明日は受診を。（医師対応）

<その他>

Q：シングレア、カルボシステイン、フルスマリン、アスベリンを内服しているが、エピナスチンと併用してよいか。（4歳 男児）

A：いずれも併用可能である。（医師対応）

Q：1時間ほど前に、ザイザルシロップを4日分飲んでしまった。対処は。（1歳10か月 男児）

A：誤飲して1時間たっているので、薬はほぼ吸収されている。変わった様子や寝込む感じがないようなら、水分を多めに摂って経過観察を。（医師対応）

Q：風邪症状で受診している。ホクナリンドライシロップを18時に内服したが、咳がひどくて眠れない。以前処方されたホクナリンテープ1mgを貼ってもよいか。（5歳 女児）

A：内服から時間が経過しており量も多くなかったため、1枚使用してよい。ただ効果が得られるまで4、5時間かかるため、その間加湿とこまめな水分摂取を。（医師対応）

Q：2時間前イクラを触り、目と唇が腫れている。以前、イクラを食べアナフィラキシー症状になり、薬を処方されている。現在は外出中であり薬はない。受診か。（2歳 女児）

A：今回2回目の症状であり、薬もないことから受診を。（医師対応）

Q：溶連菌感染症で抗生剤とカルボシステイン、アスベリンを処方されている。咳がひどいが、以前処方されたアニスーマという座薬を併用してよいか。（3歳 女児）

A：気管支拡張剤であれば一般的には併用可能。（医師対応）

Q：母が胃腸炎のため夜間救急に受診、エリーテンの点滴を受けた。現在完全母乳のため授乳してよいか聞いたが、当直の医師にはわからないと言われた。どう対応か。（4か月 女児）

A：エリーテンは錐体外路症状が出ることがあり、母乳へのくらい出るか不明。せめて2時間は授乳せず、白湯で対応を。（相談員対応）

Q：5歳からしか飲めない市販薬の酔い止めを1錠飲んでしまった。受診か。（3歳 男児）

A：飲んだ量が少量であるため、特に心配はない。眠気が出てくると思われるので、休ませて様子見を。（医師対応）

Q：10分前に、本人用の薬に加えて、3歳の子の薬も誤って飲ませてしまった。対応は。（1歳 女児）

A: 薬の量が多いが、水分を多めに摂って様子見を。明朝の薬は内服せず受診を。(医師対応)

Q: 本日咳で病院を受診し、アニスーマ座薬を処方された。病院では1本使用の指示だったが、分量が多いような気がする。1本使っても大丈夫か。(1歳7か月 男児)

A: 1日の分量の2倍量程度であれば問題はないと考える。かかりつけ医の指示通り使用を。(医師対応)